

# 1回：旧石器時代から縄文時代へ

赤（なみ線）は重要

青（ぼう線）は難関

今から1万年前までの時代を①\_\_\_\_\_時代といいます。この時代は②\_\_\_\_\_期とよばれるほど気温が低かったため、日本とユーラシア大陸は陸続きでした。

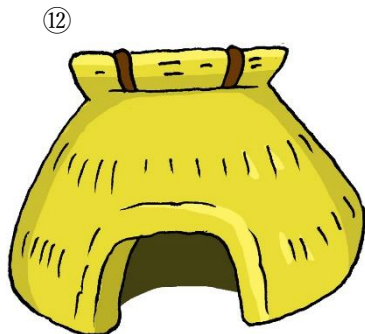


この時代の人間は、ナウマンゾウなどの狩りをするなどして、生活していました。狩りや生活には、石を打ち欠いてつくった③\_\_\_\_\_が使われていました。日本で始めて確認されたこの時代の遺跡は、群馬県の④\_\_\_\_\_遺跡です。この遺跡は、1946年に、相沢忠洋によって発見されました。



今から1万2千前から紀元前4世紀ごろまでの時代を⑤\_\_\_\_\_時代といいます。気候は暖かくなりました。

この時代の人間は、③に加えて表面をみがいた⑥\_\_\_\_\_を使い始め、黒っぽい茶色で厚手の⑦\_\_\_\_\_土器で調理や貯蔵をしました。骨や角でつくった⑧\_\_\_\_\_で漁をして、食べたあとの骨や貝がらを捨てた場所は⑨\_\_\_\_\_となりました。狩りには⑩\_\_\_\_\_も使い始めました。



⑨で有名なものは、明治時代にモースが発見した、東京都の⑪\_\_\_\_\_です。人々は⑫\_\_\_\_\_住居に住み、粘土で⑬\_\_\_\_\_という人形をつくっていました。この時代の遺跡としては、青森県の⑭\_\_\_\_\_遺跡が有名です。

答え：①旧石器 ②氷河 ③打製石器 ④岩宿 ⑤縄文 ⑥磨製石器 ⑦縄文 ⑧骨角器

⑨貝塚 ⑩弓矢 ⑪大森貝塚 ⑫たて穴 ⑬土偶 ⑭三内丸山